

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5 判上製・総頁 1444 頁・定価 52500 円 (本体 50000 円)

本書は淡水における藻類, 約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの, 関連するものをさらに約 800 属所収する。60 年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として, 淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は, それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後, それぞれの属の記載が中心となり, 線画による基本的な図版を示しながら, 属の分類基準とされる形態形質, 生殖形質, 生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ, 和文, 欧文の事項索引, また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに/凡例/淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01 付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引/属名カナ読み索引/和文事項索引/欧文事項索引

新日本海藻誌

—日本産海藻類総覧—

吉田 忠生 著 B5 判・総頁 1248 頁・定価 48300 円 (本体 46000 円)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936) を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約 60 年間の研究の進歩を要約し, 多様な知見を盛り込んで, 日本産として報告のある海藻 (緑藻, 褐藻, 紅藻) 約 1400 種について, 形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず, 広く関係各方面に必携の書。

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5 判・総頁 592 頁・定価 21000 円 (本体 20000 円)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり, 応用の具体的事例を数多く紹介するとともに, 今後期待される新分野, 機能性成分についても多くの知見を盛り込む。生物学編, 利用編, 機能性成分編の 3 編 31 章から構成され, 各分野で長く研究にかかわってきた多彩な執筆者が, それぞれの専門分野を詳述する。

小林弘珪藻図鑑

H. Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5 判・596 頁・定価 35700 円 (本体 34000 円)

本書は, 珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり, 斯界の第一人者, 故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし, 特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語, 日本語, ラテン語の一覧表や, 学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DAIPo, pH 耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯耆晶子 著 B5 判・784 頁・定価 34650 円 (本体 33000 円)

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集, 膨大なサンプルの生態情報を処理検討し, 約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため, すべてのサンプルを統一条件下で採集し, 好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか, 汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を, 多くの図版で具体的に示す。

表示の価格は税込定価 (本体価格 + 5%) です。
<http://www.rokakuho.co.jp>

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

内田老鶴園

日立ハイテク
HITACHI

SU8000 Series



世界を変えたFE技術。 半世紀に渡る 深化の最先端へ。



SU9000

「電界放出形電子顕微鏡の実用化」が
IEEEマイルストーンに認定されました。

1969年、日立はFE電子源の技術開発に着手。それからわずか3年でFE技術を実用化して、FE-SEM^{*1}の開発に成功。以来、40年以上にわたり日立のFE技術は、高分解能なSEMやTEM^{*2}に採用され、生物、材料、半導体などの幅広い分野で世界の科学や医学、産業の発展に大きく貢献してきたのです。

*1 電界放出形走査電子顕微鏡 *2 透過電子顕微鏡

IEEE MILESTONE IN ELECTRICAL ENGINEERING
AND COMPUTING


First Practical Field Emission Electron Microscope, 1972

Hitachi developed practical field emission electron source technology in collaboration with Albert Crewe of the University of Chicago, and commercialized the world's first field emission scanning electron microscope in 1972. This technology enabled subtle and reliable ultrahigh resolution imaging with easy operation. Field emission electron microscopes have made invaluable contributions to the progress of science, technology and industry in physics, biology, materials, and semiconductor devices.

January 2012



最先端を、最前線へ。

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

北海道(札幌) (011) 707-3200
四国(高松) (087) 814-9911

東北(仙台) (022) 264-2211
九州(福岡) (092) 778-3015

中部(名古屋) (052) 219-1670
沖縄 (098) 863-8925

関西(大阪) (06) 4807-2552

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

藻類

第 60 巻第 2 号

2012 年 7 月 5 日印刷

2012 年 7 月 10 日発行

© 2012 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者 寺田竜太

〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20

鹿児島大学水産学部水産学科

Tel 099-286-4131

Fax 099-286-4015

E-mail terada@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷所 株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発行所 日本藻類学会

〒 060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学大学院理学研究院自然史科学部門

Tel 011-706-2745

Fax 011-706-4851

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第60巻 第2号 2012年7月10日

目次

島袋寛盛・今村圭史・新井章吾・田中敏博・今吉雄二・吉田忠生・寺田竜太：鹿児島県上甕島の海跡湖に見られる 海産植物と生育環境	31
八谷光介・清本節夫・吉田吾郎・吉村 拓：九州西岸に生育するホンダワラ属 13 種の付着器からの 再生能力	41
阿部真比古・村瀬 昇：下関市立しものせき水族館海響館オープンラボ「海藻おしばアート」開催記	46
藻類学最前線	
寺内 真：褐藻類における細胞壁研究の今	47
吉田忠生：日本産海藻目録（2010年改定版）の訂正について	51
英文誌（Phycological Research）59巻3・4号和文要旨	52
学会録事，他	58
日本藻類学会ロゴマークの学会員による投票について	58
日本藻類学会ホームページ URL 変更のお知らせ	58
会員異動	59
学会シンポジウム情報	60
2012年度藻類談話会のお知らせ	61
入会申込	121
日本藻類学会第36回大会（札幌2012）プログラム	65